

## 会議結果概要書

1. 会議名	平成30年度 第3回名寄市上下水道事業経営審議会
2. 開催日	平成31年3月15日（金）午後6時30分～午後8時00分
3. 開催場所	駅前交流プラザ「よろーな」 2階 会議室3
4. 委員	池会長（○）、山上副会長（○） 大野委員（○）、関委員（×）、扇谷委員（×）、伊豆倉委員（○）、 木田委員（○）、小池委員（○）、白木委員（×）、月田委員（×） ※委員10名中6名出席
5. 事務局	橋本副市長 天野建設水道部長、粕谷建設水道部次長（兼上下水道室長） 佐藤業務課長、池田業課主幹、鈴木工務課長、藤井浄水場長、 西村下水処理場長、神田業務課主査、阿部業務課主査
6. 議題等	報告1 水道料金の改定について 報告2 上下水道事業経営状況について 報告3 名寄市水道事業経営戦略・名寄市下水道事業経営戦略の進捗状況 について
7. 会議結果	○報告1 水道料金の改定について ・前回審議会以降、水道料金改定に係る経過及び市民周知の内容報告する。 ○報告2 上下水道事業経営状況について ・平成30年度決算見込及び平成31年度予算（案）を報告する。（水道・ 下水道・個別排水事業） ○報告3 名寄市水道事業経営戦略・名寄市下水道事業経営戦略の進捗状 況について ・水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略の平成29年度進捗状況につ いて報告する。  ※主な質疑、意見等については別紙1のとおり

平成30年度 第3回名寄市上下水道事業経営審議会 主な意見・質疑等

○報告1 水道料金の改定について

**問** 今後の予定の中で消費税の増税分について、10月から10%なのかと各事業所の意見でも質問が出ているが、消費税の対応はどのようにするのか。予定通り10%は10%の形なのか。

**答** 消費税増税分については、今後、市のその他の使用料の改定が出てくると思いますが、それと時期がずれることにはならないと考えています。

たとえば、施設使用料などを消費税増税後の10月に改定することになれば、あわせて改定となりますが、それが来年4月以降となれば、その時期まで水道、下水道共に改定を見送り、時期を合わせたいと考えています。

○報告2 上下水道事業経営状況について

**問** 説明のあった風連地区の通水について、10月ぐらいに通水できる予定とあったが、風連地区のどのくらいの範囲なのか。

**答** 風連地区の風連浄水場のほとんどの給水エリアで、風連日進だけは別です。一度、風連浄水場の配水池に、緑丘浄水場からの水を入れて、そこから同じようなポンプで水を給水します。

**問** 風連地区となれば西風連も対象になるのか。

**答** 配水管は天塩川の橋を超えていないため、給水エリアは橋の手前までです。西風連は市の環境生活課が管理する飲料水供給施設からの給水の方と、個人のポンプの方があります。

風連地区で水道料金を払っている家庭は、現在の地下水から一斉に切り替わることとなります。

**問** 下水道事業の機械の更新について国の助成金はないのか。

**答** 交付金制度に代わっていますが、社会資本整備総合交付金があり、率が55%または50%の2種類となっています。下水道事業は事業費金額が大きく、交付金負担率も高いので、毎年計画申請をしていますが、事業全部が採択されないのが現状です。

**問** 不明水調査は雨水と汚水の合流管の調査なのか。合流管は市街地にはたくさんあると思うが、その調査にはどのくらいかかるのか。

**答** 名寄市の下水道は、雨水と汚水を一緒に流す合流管と別々に流す分流管が布設されています。下水道事業の開始当初は合流管で、主に名寄中心地区を整備していたので

すが、雨が降るとそのまま川に流れるシステムであり、環境に良くないことから、途中から国も、お金はかかるが雨水は雨水、汚水は汚水で整備するという方針に変わり、名寄市も中心部以外は分流管で2本の管となっています。

不明水調査は合流管の調査ではなく、分流管の汚水管の調査です。汚水管の老朽化により家庭排水だけを流す口径の小さい管に雨水が混ざって入ってしまい、排水障害が起きトイレの水が流れなくなってしまうという現象ですが、H29から調査を開始し、地区が広い中で、特にひどいエリアを絞っている状況です。重点的に一度調べて原因が何かと言うことを突き止め、今後の整備など協議調整していく考えです。

**問** 数年前の大雨で、市立病院周辺の家でトイレの水が流れない、実は逆流していたと言うことを聞いたことがある。調査するといってもまだかなりの範囲が残っているのではないか。

**答** 平成26年8月の大雨の時も水の流れが悪くなり、翌年の春、市立病院の南の東西の通りの雨水管を更新し、地域の方には安心戴いています。更新した所は相当効果が上っているため、雨水がコンクリートから漏れこんでいる箇所を更新しなければなりません。古い管全てを更新するには莫大な費用がかかります。少しでも効率よく更新するためにも、不明水調査で費用を抑えながら効率よく調査をやっていくことによってかなり絞れると思います。

### ○報告3 名寄市水道事業経営戦略・名寄市下水道事業経営戦略の進捗状況について

**問** 個別排水事業について、戸数の少ない所に上下水道を整備するには事業費が増大し難しいため浄化槽を整備するということだが、当然個人負担も伴ってくるのか。

**答** 個別排水整備事業は、合併浄化槽を整備する際に工事費用の10%を受益者の分担金と言う形で負担頂いています。その他の工事費用については、下水道事業債という有利な交付税措置のある起債（借入金）を使って整備をしています。

1件の工事費は、概ね5人槽で130万から140万かかりますので、その1割の13万から14万程度を一括払いで個人負担いただいています。